

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2012 年 6 月 28 日(28.06.2012)



(10) 国際公開番号

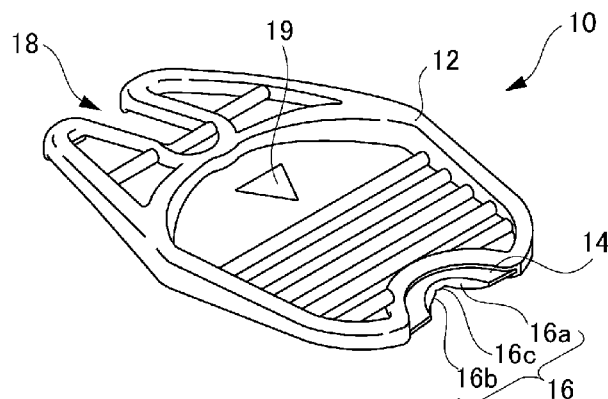
WO 2012/086367 A1

- (51) 国際特許分類:
B65C 3/00 (2006.01) *B65C 11/00* (2006.01)
A63H 3/48 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2011/077307
- (22) 国際出願日: 2011 年 11 月 28 日(28.11.2011)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2010-284934 2010 年 12 月 21 日(21.12.2010) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社バンダイ (BANDAI CO., LTD.) [JP/JP]; 〒1118081 東京都台東区駒形一丁目 4 番 8 号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 佐々木 茂典 (SASAKI Shigenori) [JP/JP]; 〒1118081 東京都台東区駒形一丁目 4 番 8 号 株式会社バンダイ内 Tokyo (JP). 勝野 真弥 (KATSUNO Shinya) [JP/JP]; 〒1118081 東京都台東区駒形一丁目 4 番 8 号 株式会社バンダイ内 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).
- 添付公開書類:
— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

(54) Title: STICKER ATTACHMENT TOOL

(54) 発明の名称: シール貼付治具

【図1】



(57) Abstract: [Problem] To provide a sticker attachment tool capable of easily attaching a sticker at a designated position, even if the sticker attachment position has a complicated shape. [Solution] A sticker attachment tool is provided with a tip face (16) which can be fit within an attachment range (22) of a sticker (30) having a designated attachment position, and which has substantially the same shape as the attachment range (22), with the tip face (16) being a surface abutting the sticker (30). When the opposing circumferential portions of the tip face (16) and the attachment range (22) are brought into contact with each other, the center portions of these form a gap which has almost the same size as the thickness of the sticker (30).

(57) 要約: 【課題】複雑な形状のシール貼付位置であっても、指定位置に容易にシールを貼付することができるシール貼付治具を提供する。【解決手段】貼付位置を指定されたシール 30 の貼付対象範囲 22 に収まりかつその貼付対象範囲 22 と略同形状を有する先端面 16 を備え、先端面 16 がシール 30 との当接面となるシール貼付治具。先端面 16 と貼付対象範囲 22 との相対する周辺部同士の接触時に中央部同士がシール 30 の厚さ程度の隙間を形成する。



WO 2012/086367 A1

明 細 書

発明の名称：シール貼付治具

技術分野

[0001] 本発明は、シール貼付治具に関する。

背景技術

[0002] 従来、シール貼付の際に使用する工具としては、ピンセットの利用が一般的に用いられている。その中で、金属製の細長く薄い二股の板状物のシール貼り付け治具であって、へら状の二つの先端部を有し、先端部の一方が、へら状の面に対して垂直の垂直部を備える構成の治具を提案されている（特許文献１）。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献１：実開平３－３６８９７号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] 特許文献１に示す治具は、ピンセットの延長線上にあり、二股の金属製治具は、その先端部の垂直部によってシールの位置合わせを実施している。ここで、模型玩具などにおいては、シール貼付位置の周辺には凹凸形状の部位が配置されていることは珍しくない。従って、上記のように位置合わせの為の先端部の構成は、これらの凹凸形状の部位と干渉する可能性が大きいという問題があった。特に、シール貼付位置が窪み部分に対応し奥まっている場合には、ピンセットや二股の構成自体がシール貼付位置の周辺に干渉することから、シール貼付位置を露出させるように、貼付対象を不要な位置で分割する場合もあるという問題もあった。

[0005] そこで、プラモデル等の模型玩具の作成においては、シール貼付位置の周辺に凹凸が形成されないパーツを作成し、そのパーツにシールを貼付した後、他の装飾パーツ等を取り付けて立体的に仕上げていく必要があり、工程が

複雑になり、大変手間のかかるものであった。また、シールを貼付しやすい形状にするため、シール貼付位置の周辺に凹凸を形成しないよう、不要な箇所であってもパーツを分割する必要がある、外観的にも見栄えが悪くなることがあった。

[0006] 本発明は、複雑な形状のシール貼付位置であっても、指定位置に容易にシールを貼付することができるシール貼付治具を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0007] 本発明のシール貼付治具は、シールの貼付対象範囲の周辺に凹凸が形成された部材にシールを貼付するシール貼付治具であって、貼付位置を指定されたシールの貼付対象範囲に収まりかつその貼付対象範囲と略同形状を有する先端面を備え、前記先端面が前記シールとの当接面となる。

[0008] また、本発明のシール貼付治具において、シール貼付治具は、先端面と貼付対象範囲上との相対する周辺部同士の接触時に中央部同士がシールの厚さ程度の間隙を形成することが好ましい。また、シール貼付治具は、先端面に続く先端部が、指定された貼付対象範囲を囲む部分に干渉しない形状であることが好ましい。また、貼付対象が模型用部材の一部であり、シール貼付治具は、模型用部材の役割のない部分に形成されることが好ましい。

発明の効果

[0009] 本発明によれば、複雑な形状のシール貼付位置に容易にシールを貼付することができるシール貼付治具を提供することが可能となる。

図面の簡単な説明

[0010] [図1]本発明に係わるシール貼付治具の斜視図である。

[図2]シール貼付治具が使用指定される貼付対象の斜視図である。

[図3]貼付対象の指定された貼付対象範囲に貼付されるシールの正面図である。

[図4]シール貼付治具の上面図である。

[図5]図4のA-A'線の断面図である。

[図6]シール貼付治具の正面図である。

[図7]貼付対象の貼付対象範囲にシール貼付治具を適用する状況を示す斜視図である。

発明を実施するための最良の形態

[0011] 以下、本発明に係わるシール貼付治具の実施形態について、図面を参照しながら説明する。図1は本発明の実施形態に係わるシール貼付治具の斜視図、図2は図1のシール貼付治具が使用指定される貼付対象の斜視図、図3は図2の貼付対象の指定された貼付対象範囲に貼付されるシールの正面図である。

[0012] 本実施形態のシール貼付治具10は、保持部12と、先端部14とから構成され、先端部14には先端面16が備えられる。この先端部14及び先端面16は、図2に示した貼付対象の指定位置22に図3で示したシール30を貼り付ける際に使用する専用治具として構成されている。

[0013] 貼付対象は、人形ロボット玩具の頭部20であり、シール30に対する貼付対象範囲22は、眼部23a、23b及び鼻根部24で占められる範囲である。本実施の形態では、貼付対象範囲22の周囲には、貼付対象範囲22の表面より突出した眉山部26及び頬部28が設けられ、貼付対象範囲22は眉山部26及び頬部28からは奥まって形成されている。シール30は、人形ロボット玩具の頭部20の眼部23a、23bに対応する両端部32a、32bと、鼻根部24に対応する中央部34から構成される。そして、貼付対象範囲22の奥まった範囲全域に渡って貼り付けられるよう指定されている。

[0014] 先端面16とその先端面16に続く先端部14は、貼付対象範囲22とその回りの形状に対応して専用で構成される。先端面16は、シール30貼付の際には、シール30に当接して、貼付位置へシール30を押しつける。

[0015] 図1、図4、図5、図6で示すように、先端面16は、貼付対象範囲22の眼部23a、23b及び鼻根部24に対応して湾曲した先端面16a、16bを形成され、更に貼付対象範囲22の面積範囲内で、その形状と略同形状を適用されている。先端面16の湾曲構成は、先端面16a、16bと相

対する眼部 23 a、23 b のそれぞれの縁部分が当接する場合に、鼻根部 24 と先端面 16 c との間にシール 30 の厚さ程度の隙間ができるように形成されている。

[0016] 先端部 14 は、奥まった貼付対象範囲 22 の深さと少なくとも同等の長さで保持部 12 から突出する突出部分である。この突出部分である先端部 14 は、先端面 16 の幅と同等程度の厚みに抑えられている。従って、シール 30 を貼り付ける際に、眉山部 26 及び頬部 28 にシール貼付治具 10 が干渉することはない構成である。

[0017] このように、先端部 14 は、指定された貼付対象範囲 22 を囲む部分に干渉しない形状であればよく、貼付対象範囲 22 を囲む部分の形状（眉山部 26 及び頬部 28 など）に対応して、適宜に構成される。予め指定された貼付対象であるので、その形状も解っており、その形状に沿って構成することで、干渉を完全に避けることが可能である。本実施の形態において、シール貼付治具の先端面は、貼付対象範囲に指定されたシールに対して、その貼付対象範囲に収まるこのシール専用の形状を備えることにより、先端面が貼付対象範囲を囲む部分と干渉することなく、シールを貼付対象範囲に確実に押しつけることができる。

[0018] 本実施形態のシール貼付治具 10 は、ランナーから部品を分離する時に用いる模型用部材分離治具での役割のない部分（後端部分）を使用している。つまり、逆に述べれば、保持部 12 を中心に、先端面 16 と先端部 14 の反対側には模型用部材分離用の爪部 18 が備えられている。これらはそれぞれの側が必要に応じ使用される。この爪部 18 は模型用部材分離後には、不要となるため、本実施形態により新たな役割を与えられる治具となる。本発明では、本実施形態の模型用部材分離治具以外にも、役割のない部分がある部材には適用可能であり、本件のような模型の場合、ランナー、製品プレート、電池蓋、パーツの一部などに適用可能である。

[0019] 図 7 に示すように、貼付対象範囲 22 へのシール 30 の貼り付けにおいて、奥まった位置にある貼付対象範囲 22 に対して、シール貼付治具 10 の先

端部 1 4 によりシール 3 0 を押し込む状態となる。シール貼付治具 1 0 には上下の目印 1 9 が配置され、上下方向を指定している。先端面 1 6 と貼付対象範囲 2 2 との距離を均等に保ったまま、シール 3 0 の位置合わせの微調節を行いつつ、シール 3 0 を押し込み、貼付対象範囲 2 2 にシール 3 0 を貼り付ける。

[0020] 位置合わせの微調整についての他の手順として、まず、シール 3 0 の端部 3 2 a を眼部 2 3 a と先端面 1 6 a とで挟持することも可能である。この時、端部 3 2 a の位置合わせは略完了することとなる。次に、端部 3 2 b 側を先端面 1 6 b により眼部 2 3 b へ徐々に近づける。この近づける間に、端部 3 2 b の微調整を続け、眼部 2 3 b 側へ押し込むことも可能である。

[0021] いずれにしても、先端面 1 6 の湾曲構成は、先端面 1 6 a、1 6 b と相対する眼部 2 3 a、2 3 b のそれぞれの縁部分が当接する場合に、鼻根部 2 4 と先端面 1 6 c との間にシール 3 0 の厚さ程度の隙間ができるように形成されている。従って、シール 3 0 の両端部 3 2 a、3 2 b から位置決めでき、中央部 3 4 は両端部 3 2 a、3 2 b の位置が決まってから貼り付くこととなり、シール 3 0 を貼付対象範囲 2 2 へ正確かつ容易に貼り付けることができる。

[0022] 本実施形態によれば、予め指定された貼付対象範囲 2 2 に対する専用のシール貼付治具 1 0 とすることで、作業にもっとも適した形態を与えて、作業の簡素化と、正確な貼り付けを実施することができ、大きさも最小限に止めることができる。また、奥まった位置の貼付対象範囲にも対応でき、部品を不要な位置で分割するような必要も無い。

[0023] なお、本発明は上記実施形態に限定されるものではなく、本発明の目的を達成できる範囲での変形、改良などは本発明の含まれるものである。例えば、本実施形態は、人形ロボット玩具の頭部 2 0、特に、眼部 2 3 a、2 3 b 及び鼻根部 2 4 で占められる範囲が貼付対象範囲であるが、このような箇所限定されることはない。専用のシール貼付治具が求められる部分であれば、適用可能であり、特に、シール貼付対象範囲の周囲に凹凸が形成された奥

まった部分や、ピンセットなどでは困難が伴う部分に有効である。

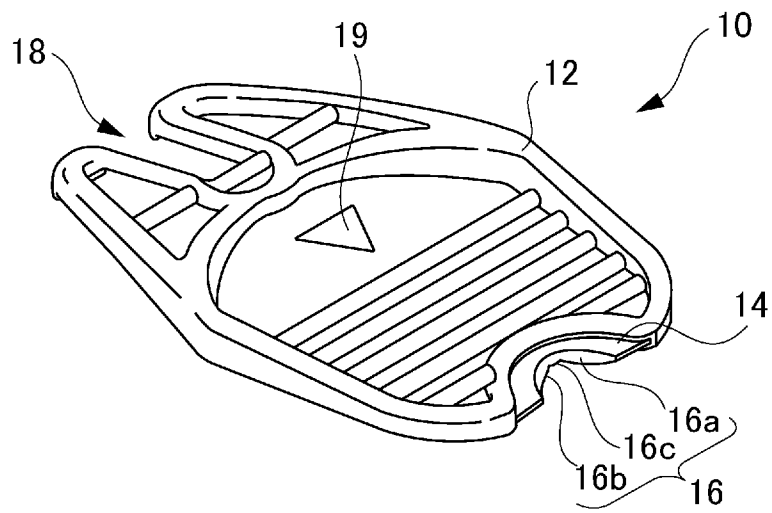
符号の説明

- [0024] 1 0 シール貼付治具
- 1 2 保持部
- 1 4 先端部
- 1 6 a、1 6 b 先端面
- 1 9 目印
- 2 0 人形ロボット玩具の頭部
- 2 2 貼付対象範囲
- 2 3 a、2 3 b 眼部
- 2 4 鼻根部
- 3 0 シール
- 3 2 a、3 2 b 両端部
- 3 4 中央部

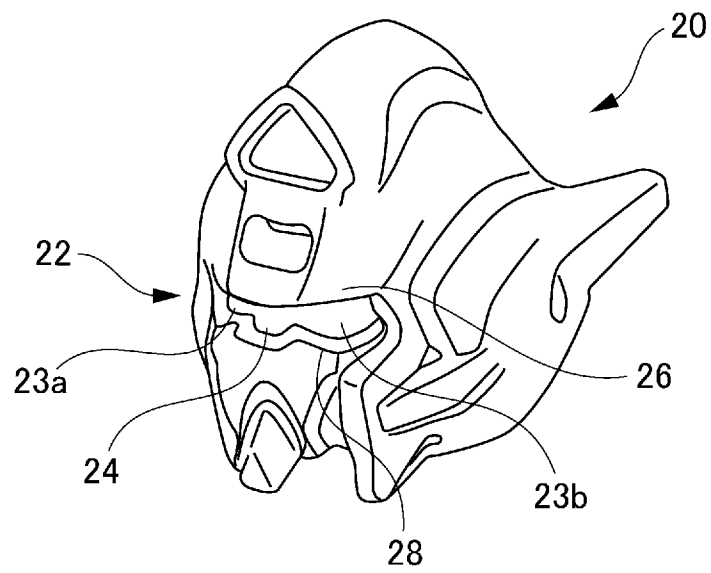
請求の範囲

- [請求項1] シールの貼付対象範囲の周辺に凹凸が形成された部材にシールを貼付するシール貼付治具であって、
貼付位置を指定されたシールの前記貼付対象範囲に収まりかつその貼付対象範囲と略同形状を有する先端面を備え、前記先端面が前記シールとの当接面となるシール貼付治具。
- [請求項2] 請求項1において、
前記先端面と前記貼付対象範囲上との相対する周辺部同士との接触時に中央部同士が前記シールの厚さ程度の隙間を形成するシール貼付治具。
- [請求項3] 請求項1または請求項2において、
前記先端面に続く先端部が、指定された前記貼付対象範囲を囲む部分に干渉しない形状であるシール貼付治具。
- [請求項4] 請求項1乃至請求項3のいずれか一項において、
貼付対象は模型用部材の一部であり、前記シール貼付治具は、前記模型用部材の役割のない部分に形成されるシール貼付治具。

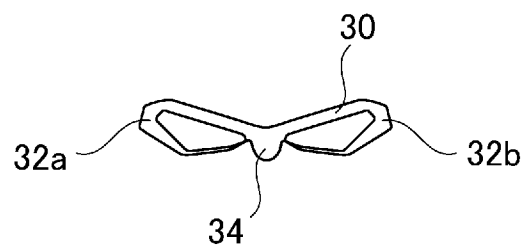
[図1]



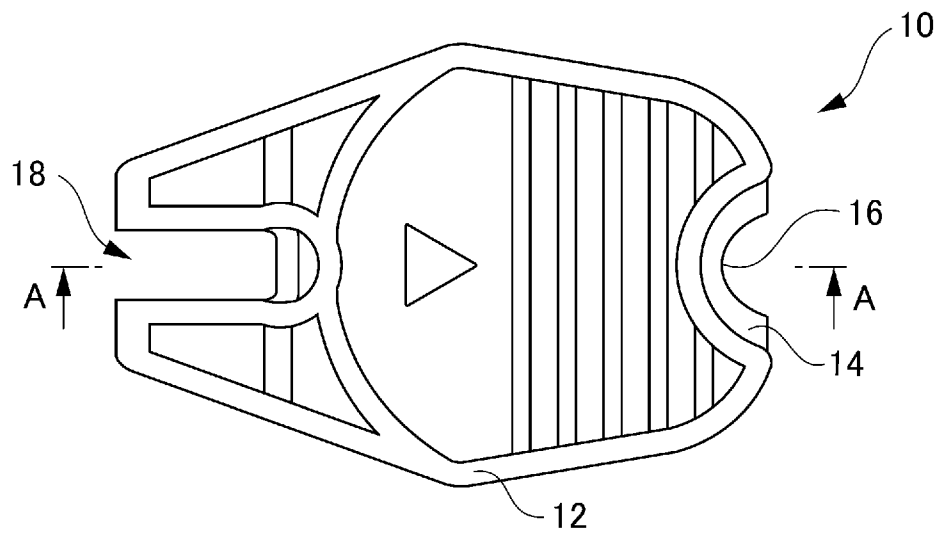
[図2]



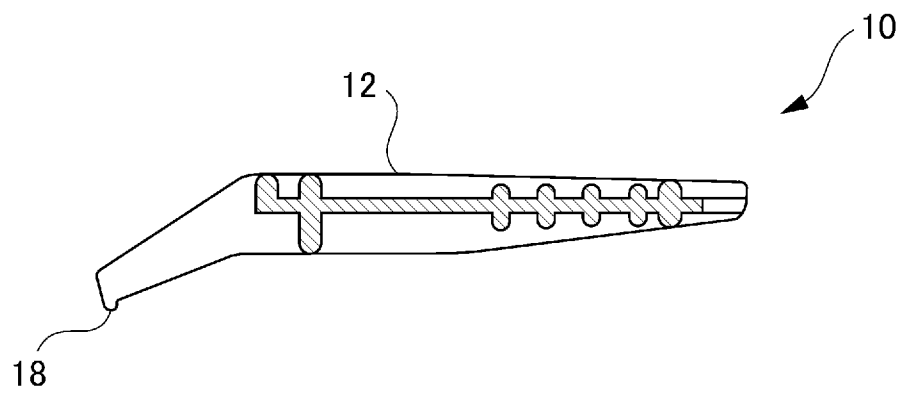
[図3]



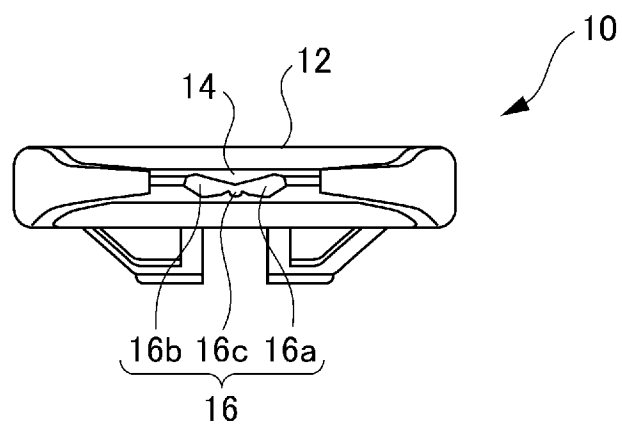
[図4]



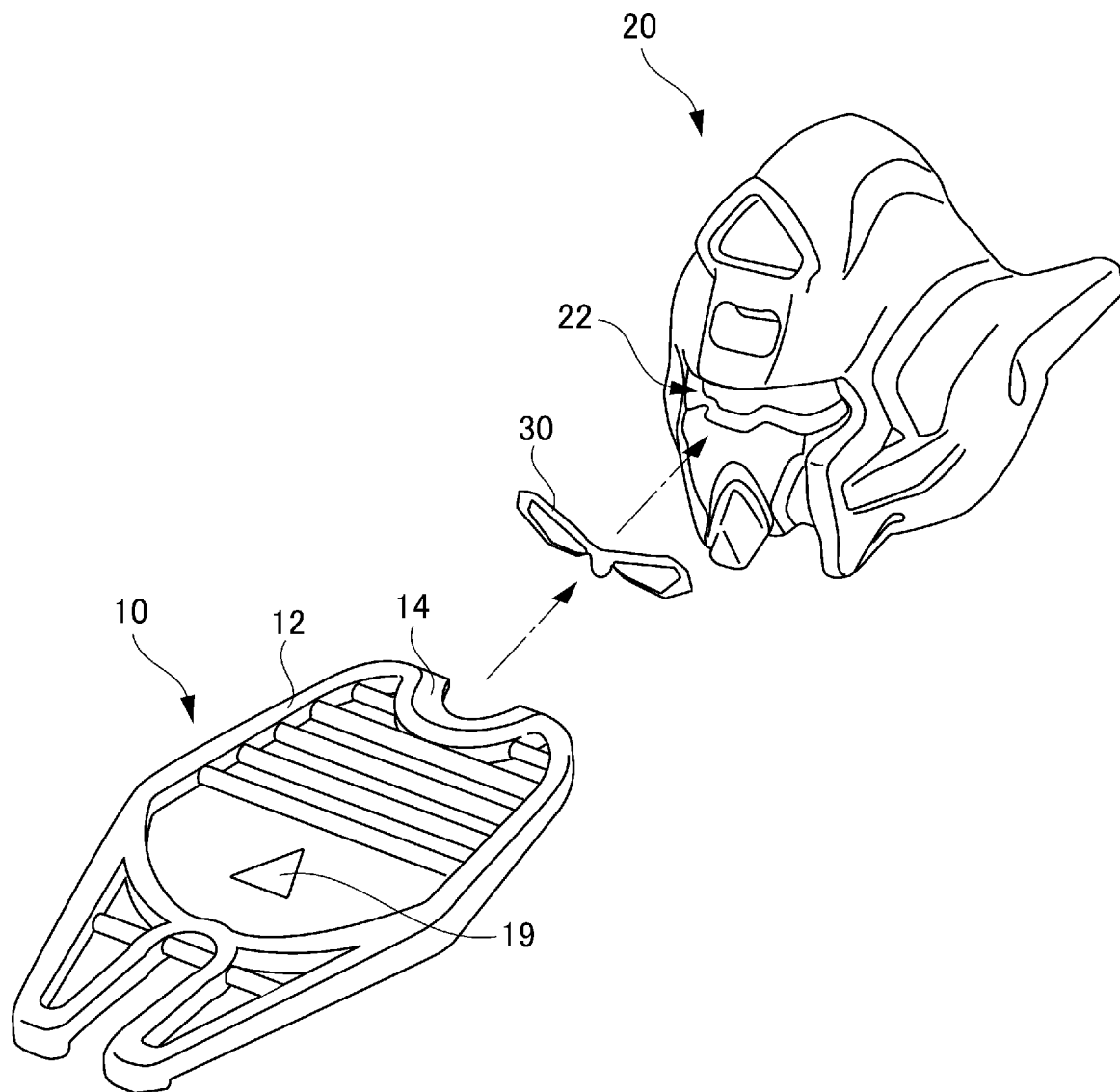
[図5]



[図6]



[図7]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2011/077307

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

B65C3/00(2006.01)i, A63H3/48(2006.01)i, B65C11/00(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B65C3/00, A63H3/48, B65C11/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2012
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2012	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2012

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP 2706842 B2 (Kuramoto Sangyo Co.), 28 January 1998 (28.01.1998), entire text; fig. 1 to 11 (Family: none)	1-2 4
X Y	JP 2003-95230 A (Sony Corp.), 03 April 2003 (03.04.2003), entire text; fig. 1 to 13 (Family: none)	1-3 4
X Y	JP 11-324590 A (Shimizu Corp.), 26 November 1999 (26.11.1999), entire text; fig. 1 to 3 (Family: none)	1-3 4

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
14 February, 2012 (14.02.12)

Date of mailing of the international search report
28 February, 2012 (28.02.12)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2011/077307

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 109934/1990 (Laid-open No. 68765/1992) (Nisso Shoji Co., Ltd.), 18 June 1992 (18.06.1992), specification, page 5, line 19 to page 6, line 10; fig. 1 to 2 (Family: none)	4
A	JP 2009-131351 A (Toppan Printing Co., Ltd.), 29 November 2007 (29.11.2007), paragraph [0030]; fig. 9 to 11 (Family: none)	1-4
A	JP 2009-37815 A (Toyota Motor Corp.), 19 February 2009 (19.02.2009), entire text; fig. 1 to 9 (Family: none)	1-4
A	JP 3383343 B2 (Minnesota Mining and Manufacturing Co.), 04 March 2003 (04.03.2003), entire text; fig. 1 to 5 & DE 94005341 U & DE 94005341 U1	1-4
A	JP 2001-239525 A (Kojima Press Industry Co., Ltd.), 04 September 2001 (04.09.2001), entire text; fig. 1 to 8 (Family: none)	1-4
A	JP 3157588 U (Bandai Co., Ltd.), 25 February 2010 (25.02.2010), entire text; fig. 1 to 12 (Family: none)	1-4

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. B65C3/00(2006.01)i, A63H3/48(2006.01)i, B65C11/00(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. B65C3/00, A63H3/48, B65C11/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 2 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 2 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 2 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X Y	JP 2706842 B2（株式会社倉本産業）1998.01.28, 全文, 第1-11 図（ファミリーなし）	1-2 4
X Y	JP 2003-95230 A（ソニー株式会社）2003.04.03, 全文, 第1-13 図（ファミリーなし）	1-3 4
X Y	JP 11-324590 A（清水建設株式会社）1999.11.26, 全文, 第1-3 図（ファミリーなし）	1-3 4

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

1 4 . 0 2 . 2 0 1 2

国際調査報告の発送日

2 8 . 0 2 . 2 0 1 2

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

長谷川 一郎

3 N

9 1 3 5

電話番号 03-3581-1101 内線 3361

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	日本国実用新案登録出願 2-109934 号(日本国実用新案登録出願公開 4-68765 号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (日曹商事株式会社) 1992.06.18, 明細書第 5 ページ 第 1 9 行-第 6 ページ第 1 0 行, 第 1 - 2 図 (ファミリーなし)	4
A	JP 2009-131351 A (凸版印刷株式会社) 2007.11.29, 【0030】, 第 9 - 1 1 図 (ファミリーなし)	1-4
A	JP 2009-37815 A (トヨタ自動車株式会社) 2009.02.19, 全文, 第 1 - 9 図 (ファミリーなし)	1-4
A	JP 3383343 B2 (ミネソタ マイニング アンド マニュファクチャリング カンパニー) 2003.03.04, 全文, 第 1 - 5 図 & DE 94005341 U & DE 94005341 U1	1-4
A	JP 2001-239525 A (小島プレス工業株式会社) 2001.09.04, 全文, 第 1 - 8 図 (ファミリーなし)	1-4
A	JP 3157588 U (株式会社バンダイ) 2010.02.25, 全文, 第 1 - 1 2 図 (ファミリーなし)	1-4